

Evening Seminar 2

イブニングセミナー 2

毛穴診療のエッセンシャル

座長：秋田 浩考 先生
(藤田医科大学ばんだね病院)

演題 1

患者満足度を更に
高めるために
～日常診療を振り返る



藤田医科大学ばんだね病院
秋田 浩考先生

演題 2

サイエンスで紐解く
毛穴治療
～診療に活かす
グレード評価の試み



ウェルクリニック
根岸 圭先生

8/16(土)

17:20～18:20 大阪国際会議場 C会場 (10F 会議室 1001・1002)

毛穴診療のエッセンシャル

演題 1 患者満足度を更に高めるために ～日常診療を振り返る

秋田 浩孝先生 藤田医科大学ばんだね病院

昨今、毛穴の悩みは若年層だけでなく幅広い年齢層で多く見られる肌に対する悩みの一つとなりつつあることは、日常診療において多くの先生方も実感されているのではないだろうか。一方で、毛穴の種類は複数あり、毛穴の状態も画一的ではなく要素が複合的に組み合わさっているため、治療のアプローチが複雑化していると考えられる。

そこで本セミナーでは毛穴治療の実態について医師、患者から毛穴の悩みに対する治療に関する実態調査を行ったので紹介する。内容としては「毛穴の種類ごとの施術は何を選択しているのか?」、「毛穴の施術に対する医師と患者の満足度は?」、「客観的な毛穴グレードの評価提示した場合の医師や患者の評価は?」などの調査結果について報告する。本報告を基に、現状の治療の実態からわかってきた毛穴治療に対する課題提言、患者満足度を上げることができる方向性について述べたい。

演題 2 サイエンスで紐解く毛穴治療 ～診療に活かすグレード評価の試み

根岸 圭先生 ウェルクリニック

美容皮膚診療において、毛穴の開きは幅広い世代で主訴や副次的な主訴として挙げられる。毛穴は皮脂腺開口部としての機能を伴うため、その開きは皮脂腺機能に依存するところが大きいものの、多数例において、加齢に伴う変化としての開きも経験することとなり、開きは悩みとなり得る。これほど一般的である毛穴の悩みであるが、その程度を表現する汎用性の高いグレード評価が存在しない。

そこで、本講演では、毛穴とはなにか、なぜ形状が変化するのか、そして、その形状変化をどのように評価できるのか、データに基づいたサイエンスで紐解いてみたい。また、グレード評価の試みのひとつとして、IPL 治療における毛穴の変化を定量的パラメーターと視感評価を合わせた解析を行ったので報告する。今後の毛穴治療戦略の一助となることを期待し、皮膚内部構造観察技術も紹介したい。